

数学

北海道大学 総合入試【文系】、学部入試【文・教育・法・経済・医（保健）看護・作業】

<全体分析>

試験時間	90分	解答問題数	4題
------	-----	-------	----

解答形式

全問記述形式

分量・難易（前年比較）

分量 **減少**・やや減少・変化なし・やや増加・増加

難易 **易化**・やや易化・変化なし・やや難化・難化

やや大きな数の計算があるが、今までの問題よりは比較的やさしい問題が並んだ。

出題の特徴や昨年との変更点

どの問題も完答できそうなレベルである。

その他ピックアップ

確率の問題（**4**）が今年も理系との共通・類似問題として出題された。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1	場合の数 数列	数学A 数学B	正の約数の総和を、素因数分解を利用して求めるのだが、きちんと分類して考えるとそれほど難しくない。	標準
2	数列	数学B	誘導を付けることにより、見慣れない形の漸化式を求めさせるだけの問題なので、ここはぜひ取りたい。	やや易
3	微分法・積分法	数学II	3次関数のグラフと、 x 軸に平行な直線で囲まれた図形の面積を求める問題。うまく計算するとミスにくい。	標準
4	確率	数学A	「正八面体のさいころ」を用いた反復試行の確率の問題だが、難しくはない。(2)は余事象の利用がポイントである。	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

昨年まで多かった完答しにくい問題が今年はほとんどなくなり、どの問題も最後まで解けそうな問題だった。このようなときはミスをした者だけが不合格になる可能性がある。普段から自分の解ける設問は常に正確に解く練習をしておきたい。もし難化したときにはこれが部分点の確保の練習にもなる。どのような難易になっても、合格できるための得点を獲得することを意識して学習しておきたい。